

北島さんがバドミントン九州大会で準優勝！

10/24[Sun]

多久スポーツピア「バドミントン」に所属する北島拓実さん（東原彦舎東部校6年）が鹿児島県で行われた「第30回全国小学生バドミントン選手権九州ブロック予選会」6年生以下男子シングルスで準優勝に輝きました。「いろいろなショットを使い、自分で試合を組み立てながら楽しくプレイできました」と準優勝の喜びを話す北島さん。

年末に福島県で開催された全国大会では、惜しくも一回戦敗退となりましたが、2月に行われる佐賀県大会での優勝を目指し、日々練習に励んでいます。



▲賞状とメダルを手にする北島さん

多久未来プロジェクトが「農山漁村の宝」に選ばれました

11/19[Fri]



▲表彰式に参加した多久未来プロジェクトの小川会長（左から2人目）と受賞者のみなさん

農村の活性化に貢献した人や団体に贈られる「ディスカバー農山漁村の宝」を市民団体「多久未来プロジェクト」が受賞されました。この賞は、農林水産省九州農政局管内の27団体・個人の中から、優良事例として3団体に贈られたもの。同プロジェクトは、市内唯一の酒蔵である東鶴酒造とタッグを組み純米大吟醸「多久」を製造販売するほか、収益を活用した地域産業への支援やイベントなどの企画運営を行っています。

多久未来プロジェクトの小川三郎会長は「多久を元気にするために始めたプロジェクトが認められ、本当にうれしく思います。私たちの活動に終わりはありません。これからも続けていきます」と受賞の喜びや今後の意気込みを話されました。

岸川節全国大会で眞子さんが総合優勝

11/23[Tue]

岸川地区に伝わる民謡「岸川節」の「第26回岸川節全国大会」（主催：岸川節全国大会実行委員会）が中央公民館で開催され、寿年の部（75歳以上）に出場した眞子隆さん（南多久町）が総合優勝に輝きました。

コロナ禍で2年ぶりの開催となった今回は、県内外から150人が参加し、胸に響く歌声を披露。眞子さんは「26年、頑張ってきた甲斐がありました。みなさんのご協力のおかげで、今日は気負いなくステージに立てたような気がします。今後は、佐賀の伝統民謡の継承にも力を注いでいきたいです」と笑顔で話されました。



▲トロフィーと盾を手に笑顔を見せる眞子さん（左）と横尾市長（右）